

---

# CSS

CSSの基本1

---

## 2 時間目

# CSSとは

## 解説

CSSは、セレクタ、宣言ブロック、プロパティ、値の4つで構成されています。

style.css (CSSファイル)

```
body{
  padding-top:30px;
  padding-bottom:30px;
}

header{
  position-absolute;
  top:0px;
  left:0px;
  width:100%;
  height:30x;
  background-color:black;
}

.sidebar{
  margin-top:15px;
  margin-left:15px;
  border:5px solid #ccc;
}
```

**セレクタ**：スタイルを適用するHTMLの対象を示す部分

**宣言ブロック**：中括弧“{ }”で囲まれた部分

**プロパティ**：フォントサイズ、各スペースの幅、背景色などを指定する部分。

**値(Value)**：各プロパティの値を指定する部分

※ プロパティと値はコロン 『:』 で区切ります。

※ 値の後には必ずセミコロン 『;』 をつけます。

# セレクトの種類

解説

セレクトには、1) タイプセレクト、2) IDセレクト、3) クラスセレクト、4) 複数セレクト(ここでは省略)の4種類があります。

## 1 タイプセレクト・・・header、body、h1 などHTMLのタグとスタイルを連動させるセレクト

書き方	意味
header{ }	headerを指定する
footer{ }	footerを指定する
body{ }	bodyを指定する
p{ }	pタグを指定する
br{ }	brタグを指定する
h1～h6{ }	h1～h6タグを指定する
table{ }	tableタグを指定する

書き方	意味
ul { }	リストを指定する
blockquote{ }	引用文を指定する
img{ }	画像挿入を指定する
form{ }	formを指定する

## IDセレクトとクラスセレクトは、ほぼ同じ

### 2 IDセレクト・・・HTMLの各要素ごとにスタイルを連動させるセレクト

書き方	意味
# ● ● ● { }	先頭に # (シャープ) をつけ、その後に ● ● ● に任意 (好きな) 名前をつける。 ※同じid名は、1ページ中に1度しか使えない。

### 3 クラスセレクト・・・HTMLの各要素ごとにスタイルを連動させるセレクト(IDセレクトと同じ)

書き方	意味
. ● ● ● { }	先頭に . (ドット) をつけ、その後に ● ● ● に任意 (好きな) 名前をつける。 ※同じclass名でも、1ページ中に何度でも使える。

## index.html (HTMLファイル)

```
<body>
```

```
<header>  
  webサイトの基本  
</header>
```

```
<div class="profile">  
  <div id="name">プロフィール</div>  
  <div class="abc">私は、山田太郎です。</div>  
</div>
```

```
<footer>  
  2016 all right reserved.  
</footer>
```

```
</body>
```

idセクタは、  
<div id="●●"> . . . </div>  
と記述する

クラスセクタは、  
<div class="●●"> . . . </div>  
と記述する

タイプセクタは、  
通常のHTMLのタグ  
を記述する。

## style.css (CSSファイル)

```
header{position:absolute;  
  width:100%;  
  height:30px;  
  background-color:black;  
  font-size:16px;  
}
```

タイプセクタ

```
.profile{width:400px;  
  height:450px;  
  background-color:#eee;  
}
```

クラスセクタ

```
#name{font-size:30px;  
  font-weight:bold;  
  color:grey;  
}
```

idセクタ

```
.abc{font-size:10px;  
}
```

クラスセクタ

```
footer{position:absolute;  
  left:0px;  
  bottom:0px;  
  width:100%;  
  height:30px;  
  background-color:#eee;  
}
```

タイプセクタ

## タイプセレクトタ

CSSファイル内のheader{}に指定した内容が、HTMLファイル内の<header> </header>で囲んだ中に適用される。

index.html (HTMLファイル)

```
<header>  
  webサイトの基本  
</header>
```

style.css (CSSファイル)

```
header{position:absolute;  
width:100%;  
height:30px;  
background-color:black;  
font-size:16px;  
}
```

## クラスセクタ

CSSファイル内の`.abc{}`に指定した内容が、  
HTMLファイル内の `<div class="abc"> </div>` で囲んだ中に適用される。

index.html (HTMLファイル)

`<div class="abc">`私は、山田太郎です。`</div>`



abcという任意の名前で付けることで、連動させる場所を指定している。

style.css (CSSファイル)

`.abc{font-size:10px;`  
`}`



## idセレクトタ

CSSファイル内の.abc{}に指定した内容が、  
HTMLファイル内の `<div id="name"> </div>` で囲んだ中に適用される。

index.html (HTMLファイル)

```
<div id="name">プロフィール</div>
```



The diagram illustrates the link between the HTML and CSS files. A horizontal line connects the `id="name"` attribute in the HTML code to the `#name` selector in the CSS code. From each end of this line, a vertical line descends to a dot. These dots are connected by a horizontal line, which then turns vertically down to the text below.

nameという任意の名前で付けることで、連動させる場所を指定している。

style.css (CSSファイル)

```
#name{font-size:30px;  
font-weight:bold;  
color:grey;  
}
```



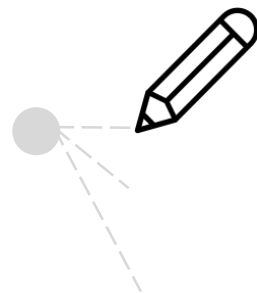
## HTML

<div id="side"> . . . </div>

<header> . . . </header>

<div class="bar"> . . . </div>

<div class="h1"> . . . </div>



## セレクトタ

● header{}

● #side{}

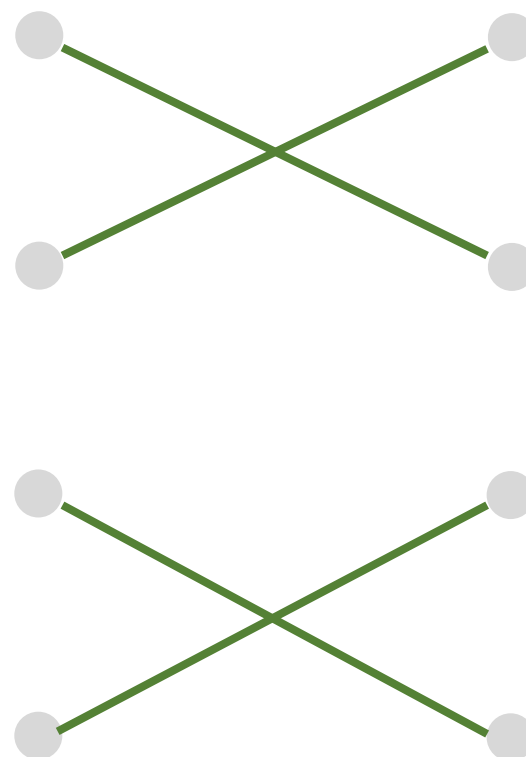
● .h1{}

● .bar{}

HTML

`<div id="side"> . . . </div>``<header> . . . </header>``<div class="bar"> . . . </div>``<div class="h1"> . . . </div>`

セクタ

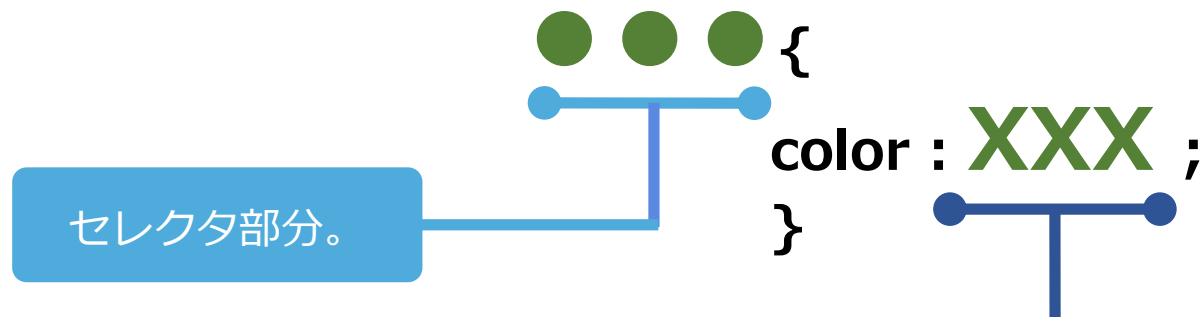
`header{}``#side{}``.h1{}``.bar{}`

# プロパティの書き方 / color

## 解説

プロパティでは、フォントサイズ、各スペースの幅、背景色などを指定することが出来ます。  
この章では、「colorプロパティ」「font-sizeプロパティ」「background-colorプロパティ」の3つ勉強します。  
この3つ以外にも多くのプロパティがあります。

下記のcolorプロパティを利用すれば、テキストの配色が可能です。



ここにred、black、blue、greenなどと記述すると、  
対象となる部分のテキストが赤、黒、青、緑に変更される。

※カラーコードを指定すれば、さらに細かい配色が可能。

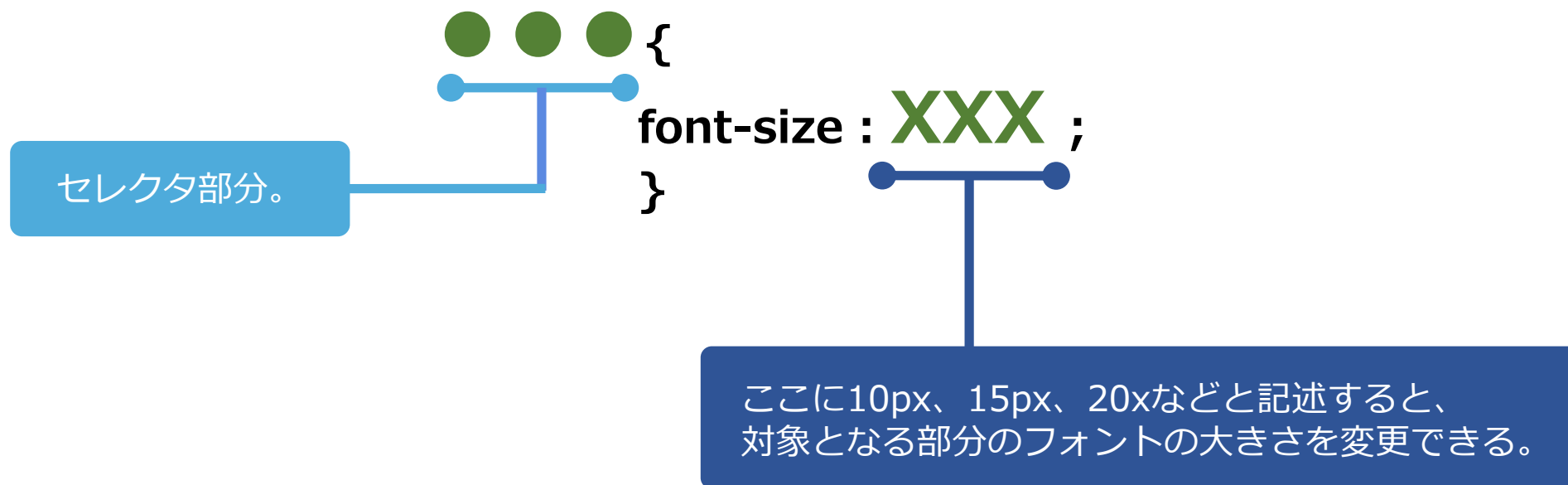
## 補足

カラーコードを全て覚えるのは、困難な為にその都度Googleで検索して使うようにしましょう。  
試しに、「HTML カラーコード」と検索してみましょう。

# プロパティの書き方 / font-size

解説

下記のようにfont-sizeプロパティを利用すれば、フォント（文字）の大きさを変更可能です。



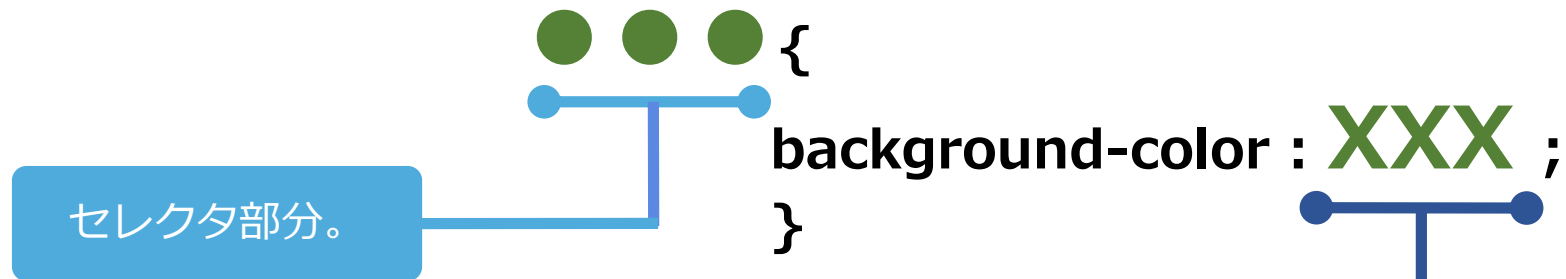
補足

フォントの大きさを指定するには、px（ピクセル）の単位で記述します。

# プロパティの書き方 / background-color

解説

下記のようにbackground-colorプロパティを利用すれば、背景色を指定することができます。



ここにred、black、blue、greenなどと記述すると、対象となる部分の背景が赤、黒、青、緑に変更される。

※カラーコードを指定すれば、さらに細かい配色が可能。

## HTMLファイル

```
<body>  
おはようございます。<br>  
こんにちは。<br>  
こんばんは。<br>  
  
</body>
```

② body内のテキストは、  
全て赤に変わる。

## CSSファイル

```
body{  
  color:red;  
}
```

① この部分に、redというテキストを記述。  
body全体のテキストの色が赤に変わる。



おはようございます。  
こんにちは。  
こんばんは。

③ 全てのテキストが  
赤に変わった!

## HTMLファイル

② h1タグのテキストは、orange色に変わる。

```
<body>  
<h1>HTMLとは</h1>  
HyperText Markup Language。略記・略称HTML（エイチティーエムエル）  
とは、ウェブ上の文書を記述するためのマークアップ言語である。
```

```
</body>
```

② body内のテキストは、  
#a9a9a9のカラーコードの色に変わる。

## CSSファイル

```
body{  
  color:#a9a9a9;  
}
```

```
h1{  
  color:orange;  
}
```

① この部分に、#a9a9a9のカラーコードを記述。  
body全体のテキストの色が  
このカラーコードの色に変わる。



## HTMLとは

HyperText Markup Language。略記・略称HTMLとは、ウェブ上の文書を記述するためのマークアップ言語である。

③ h1タグはorange色に。  
body部分は、指定した  
カラーコードに変わった!

## HTMLファイル

② h1タグのfontは50pxに変わる。

```
<body>  
<h1>HTMLとは</h1>  
HyperText Markup Language。略記・略称HTML（エイチティーエムエル）  
とは、ウェブ上の文書を記述するためのマークアップ言語である。
```

```
</body>
```

② body内のfontは15pxに変わる。

## CSSファイル

```
body{  
  font-size:15px;  
}
```

```
h1{  
  font-size:50px;  
}
```

① body全体のfontは、15pxに指定。  
h1タグは、50pxに指定。



# HTMLとは

HyperText Markup Language。略記・略称HTMLとは、ウェブ上の文書を記述するためのマークアップ言語である。

③ h1タグは50pxに。  
body部分は、15pxに。



## HTMLファイル

② h1タグの背景はlightgreyに変わる。

```
<body>  
<h1>HTMLとは</h1>  
HyperText Markup Language。略記・略称HTML（エイチティーエムエル）  
とは、ウェブ上の文書を記述するためのマークアップ言語である。
```

```
</body>
```

② body内の背景はgreyに変わる。

## CSSファイル

```
body{  
  background-color:gray;  
}
```

```
h1{  
  background-color:lightgray;  
}
```

① body全体は、greyに、  
h1タグは、lightgreyに指定。



## HTMLとは

HyperText Markup Language。略記・略称HTMLとは、ウェブ上の文書を記述するためのマークアップ言語である。

③ h1タグはlightgreyに。  
body部分は、greyに。

## HTMLファイル

```
<div id="sky">空は青</div>  
<br>  
<div id="forest">森は緑</div>
```

idセレクトタをHTMLファイルに記述する場合は、  
<div id="●●">・・・</div>とする。

## CSSファイル

```
#sky{  
  color:blue;  
}  
  
#forest{  
  color:green;  
}
```



空は青  
森は緑

## 解説

下記のように**div**の部分を**span**に変えると、改行されずに表示されます。

## HTMLファイル

```
<span id="sky">空は青</span>  
<span id="forest">森は緑</span>
```

## CSSファイル

```
#sky{  
  color:blue;  
}  
  
#forest{  
  color:green;  
}
```

ここでは、divではなく、spanと書いています。  
spanと、divは、ほぼ同じ意味で使うことができますが、  
spanは、divと違い要素と要素の間に改行が入りません。

spanは、文章の一部の文字色を変えたり、  
文字に下線を引いたりするときに便利です。



空は青森は緑

改行されずに表示された。

## HTMLファイル

```
<div id="abc">あいうえお</div>  
<br>  
<div id="big">かきくけこ</div>
```

## CSSファイル

```
#abc{  
  font-size:10px;  
}  
  
#big{  
  font-size:50px;  
}
```



あいうえお

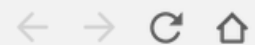
かきくけこ

## HTMLファイル

```
<div class="japan">国語の点数：80点</div>  
<br>  
<div class="english">英語の点数：90点</div>
```

## CSSファイル

```
.japan{  
  color:gray;  
}  
  
.english{  
  color:brown;  
}
```



国語の点数：80点

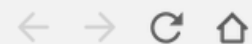
英語の点数：90点

## HTMLファイル

```
<div class="omoji">あいうえお</div>  
<br>  
<div class="komoji">かきくけこ</div>  
<br>  
<div class="omoji">さしすせそ</div>
```

## CSSファイル

```
.omoji{  
  font-size:20px;  
}  
  
.komoji{  
  font-size:10px;  
}
```



あいうえお

かきくけこ

さしすせそ